

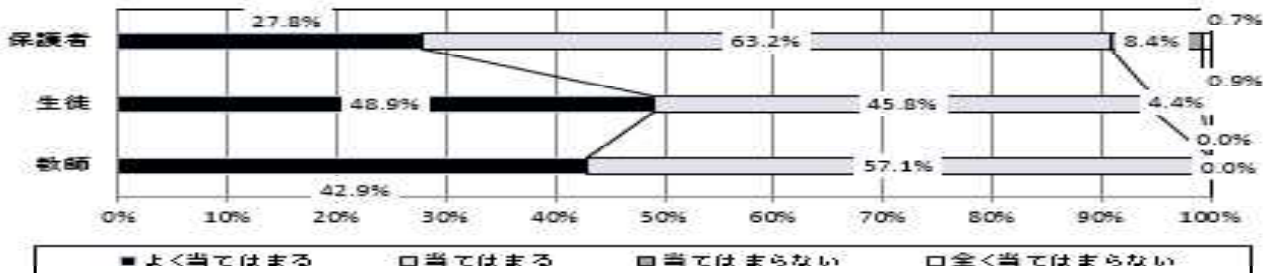
平成29年度評価アンケート対象・回答数

アンケート実施時期 平成29年11月24日(金)～12月13日(水)

アンケート対象・回答数

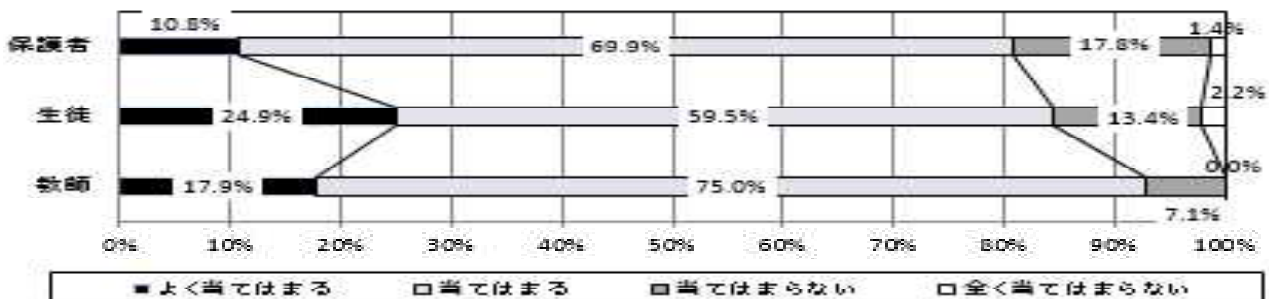
生徒	461名	／全校生徒484名	(回収率 95.2%)	【前年度比 Δ 0.3】
保護者	418家庭	／全家庭438家庭	(回収率 95.4%)	【前年度比 Δ 2.3】
教師	29名	／29名	(回収率 100%)	【前年度比 ± 0】

1 基本的な生活習慣は身につけている。



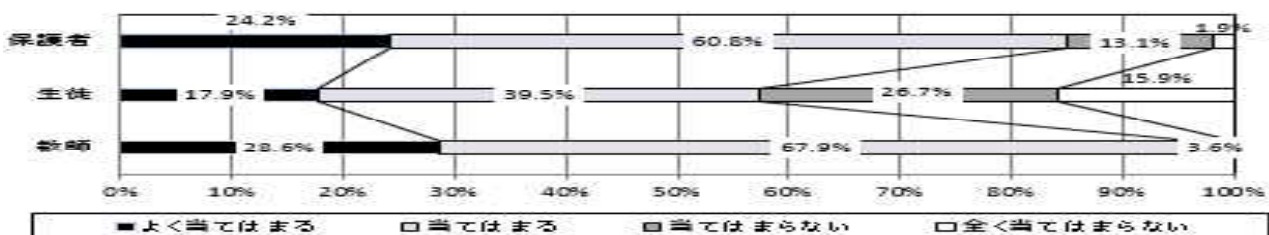
生徒・保護者・教師とも「当てはまる」という回答が90%以上を占めていますが、保護者と教師には8ポイント以上の差があり、認識の違いが見られます。保護者からは、「言われてからあいさつすることが多い」「家ではほとんどあいさつしない」などの意見もありました。今後も「あいさつ」「時間を守る」「身なりを整える」「掃除に取り組む」など社会生活で大切なことを身に付けられるよう、学校と家庭・地域が協力して、社会に通用する生徒の育成に今後も取り組んでいきます。

2 わかりやすい授業が実践されている。



80%を超える生徒・保護者が「当てはまる」と回答していますが、生徒の約13%が「当てはまらない」と回答しています。教師は、自作教材やICT機器を利用して、より生徒が意欲的に取り組めるよう工夫していますが、まだまだ不十分な面も見られます。本年度、環境面からも授業に集中できるよう、掲示物の配置を工夫するなどのユニバーサルデザインを進めてきました。「わかる授業」「生徒が主体的に取り組む授業」「生徒の意欲を引き出す授業」をめざして、研修を深め力量向上を目指します。

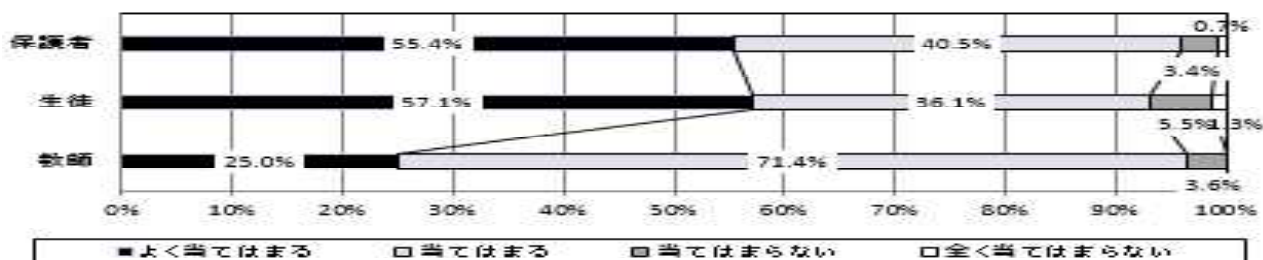
3 教育相談活動を充実させ、温かい人間関係づくりに取り組んでいる。



生徒は約43%、保護者は約15%が「当てはまらない」という回答がありました。教師の認識と生徒、保護者の認識にとっても大きな差があります。保護者からは、「特定の生徒に先生の時間が多くとられすぎている」「授業に入っていない先生からほめられてやる気が出たと言っていた」などの意見もありました。教師

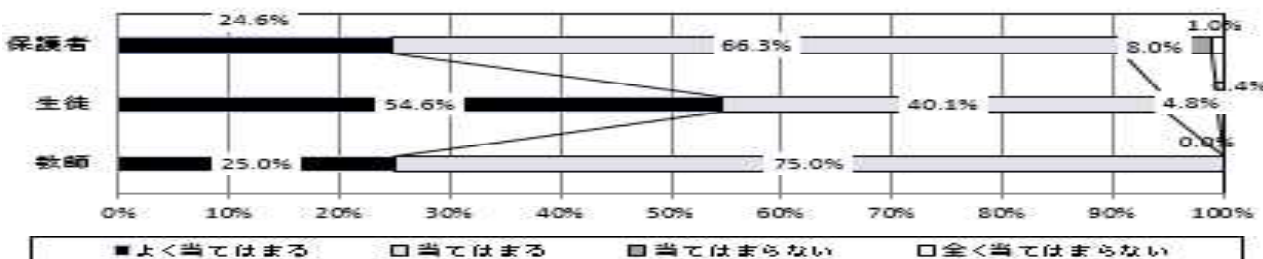
は生徒にとって困ったときに相談できる存在であることが必要です。生徒への配慮や相談活動の充実が必要と考えます。合わせて、しっぴータイムなどを通し、お互いを理解し、思いやりをもって友達と関われる生徒の育成と、教師も日頃から話しやすい人間関係づくりに努めていきます。

4 学校行事では生徒が主役となって活躍している。



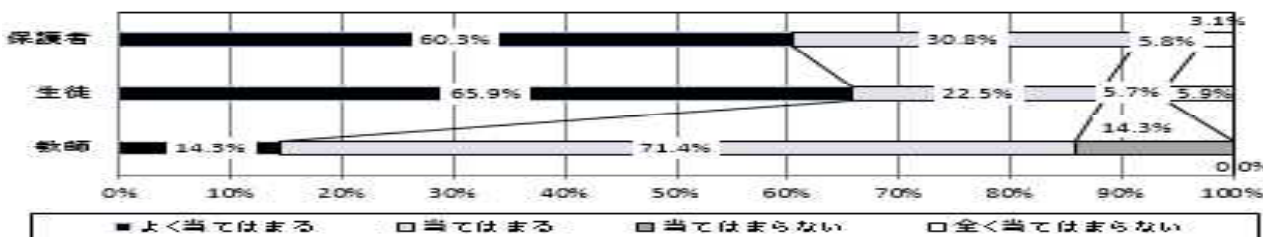
生徒・保護者・教職員とも「当てはまる」と90%以上の回答がありました。学校祭や修学旅行、自然教室、その他の学年行事等について生徒の自主的な活動が評価されたものだと思います。今後も多くの生徒が活躍できる場を多く設定し、生徒が充足感を味わうことのできる活動にしていきます。

5 いじめのない学校づくりに十分に取り組んでいる。



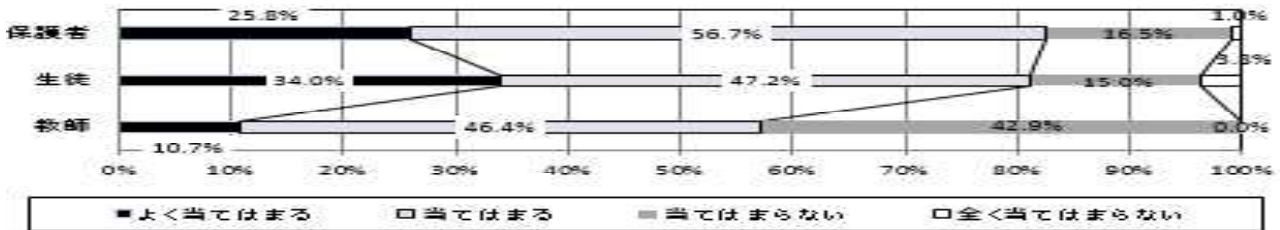
生徒・保護者・教師とも「当てはまる」という回答が90%以上ありました。教師は日頃よりいじめの問題に触れ、「いじめは人間として絶対に許されない」という共通認識をもって、指導しています。情報収集を積極的に進め、未然に防ぐために学校全体での情報交換を行っています。しかし、学校生活では把握しにくいライン等で交友関係のトラブルに発展する事例がありました。保護者のコメントには「何かことが起こってからの対応」「いじめられている子がいることに気付いていますか」との指摘もありました。今後も、保護者や関係諸機関との連携を密にして、いじめの未然防止、早期発見・対応に努め、いじめのない学級・学校づくりを推進していきます。

6 部活動に積極的に参加している。



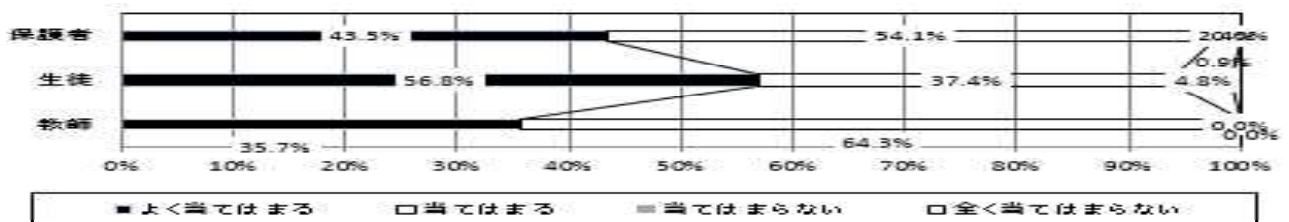
生徒・保護者・教師ともに「当てはまる」という回答が85%を超えています。「よく当てはまる」に関して、生徒・保護者と教師の割合に大きく開きがあることについては、部活動顧問として部全体を考えたうえでの回答の結果です。部活動を通して生徒は大きく成長していきます。学校としても一層魅力ある部活動の在り方を考え、教師間の連絡を密にするとともに保護者の協力を得て指導を進めていきます。

7 健康に気をつけて生活している。



生徒約15%、保護者約17%、教師約43%が「当てはまらない」と回答しています。体調不良で保健室を訪れる生徒の多くは、夜更かしや生活リズムの崩れが原因です。保護者のコメントにも「夜遅くまで起きていて、朝起きるのがつらそう」「起きる時間が遅く、朝食をとらないことがある」などが昨年同様多数ありました。生活のリズムを整えることは、充実した学校生活を過ごすための基本になります。今後も保健だよりや保健の授業や「命の集会」を通して、こころとからだの大切さを指導を進めていきます。

8 交通ルールを守って登下校している。



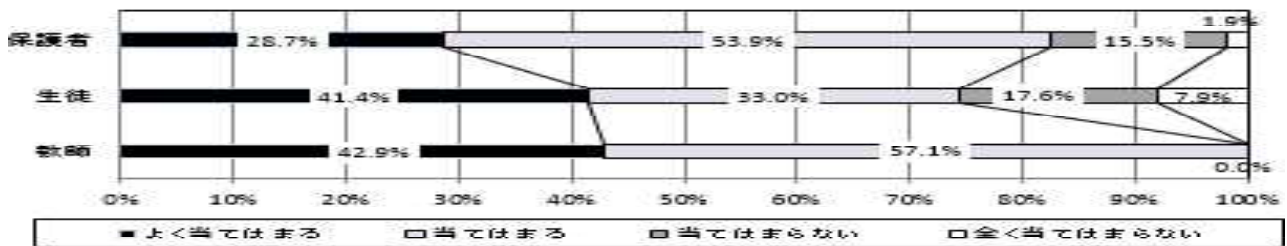
生徒・保護者・教師とも「当てはまる」という回答が90%を超えていますが、地域の方や保護者から交通事故を危ぶむ声や交通ルールを守ることができていないとの指摘を受けます。本年度も同じ場所で2件の事故がありました。いずれも自転車と自動車との接触事故です。自転車に乗るときに交差点での一時停止・並走の禁止を今後もPTAと協力して行う登校指導や毎日の下校指導を徹底して指導していくとともに交通安全教室や全校集会を通して、交通ルール遵守や交通マナー向上の意識を高めていきます。

9 地域の行事（祭り・防災訓練・ボランティアなど）に参加したり、地域の方に自分からあいさつしたりすることができる。



生徒・保護者・教師とも70%以上が「当てはまる」と回答しています。保護者からは「地域の活動が少ない」との意見もありましたが、市のボランティア募集では、毎回多くの生徒が希望して大きな活躍をしています。市の担当者も七宝中のボランティア活動への意識の高さに驚いているほどです。また、吹奏楽部も毎年地域のお祭りに参加させていただいています。今後も地域の活動への参加を呼びかけ、七宝中学区の活性化をしていきたいと考えています。

10 学校の様子がきちんと家庭に伝わっている。



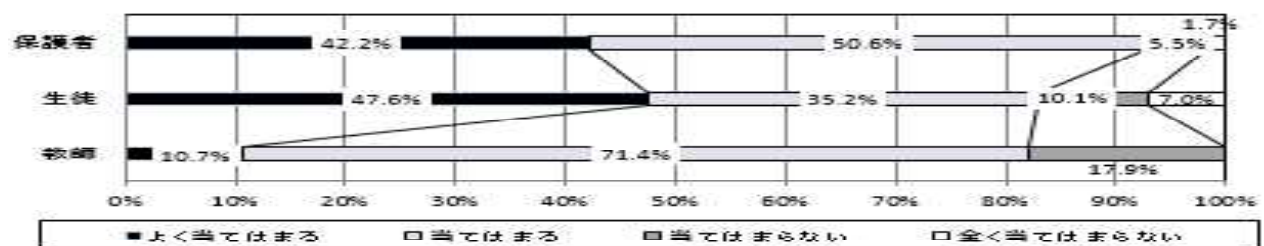
保護者・教職員ともに80%以上の評価を出していますが、保護者のコメントの中には「何か問題を起こしたとに連絡があるだけ」「あまり家で学校のことを言わないので様子がわからない」「子どもが配付物をその日に出さない」というものがありました。配付物が確実に保護者に渡るように、指導していきます。ご家庭でも配付物の確認の声かけ等、ご協力をお願いします。また、PTA配付物や学年通信はホームページにも掲載しています。七宝中学校ではあま市きずなネットを活用しています。自然教室や修学旅行の帰校時間や天候による体育祭や自然教室の実施連絡等をメール配信しています。今後も有効活用していきます。

11 自己肯定感・自尊感情が育っている。



保護者・教師は「当てはまる」という回答が88%以上の結果となりましたが、生徒は約70%という結果になりました。人と関わりながら、自尊感情、自己肯定感を高めるソーシャルスキルトレーニング(しっぴータイム)を今後も継続発展させるとともに、命を大切にする教育や人権教育にも一層取り組んでいきます。

12 楽しい学校生活を送っている。



生徒・保護者・教師の80%以上が「当てはまる」と回答していますが、生徒・教師の約18%が「当てはまらない」と回答しています。すべての生徒が楽しい学校生活を送れるよう、生徒に寄り添いながら生徒・保護者が学校生活が楽しいと感じ、充実した学校生活を送ることができるように心がけていきます。

<まとめ>

アンケートへのご協力ありがとうございました。今年度も生徒・保護者・教師それぞれの立場で、現在の七宝中の取組を評価しました。結果をふまえ、ご指摘通り、改善しなければならないことも多々あります。すべての人が満足するということは大変難しいことですが、七宝中学校をさらによい学校にするために、この学校評価が単なる評価活動に終わることなく、現状を知り、具体的な改善点を見つけ、手を加えることにより、よりよい学校にするために検討することはとても意義あることだと考えます。皆様から寄せられた声を教職員で共有し、検討していきます。

生徒の健やかな成長を図りながら、保護者そして地域の皆さんの一層の理解と支援・協力が得られるよう今後も努力していきます。